

同心

DOHSIN

1997

8号

クリニックだより

発行者

医療法人いしぐろクリニック
金沢市窪4丁目515番地
TEL (076) 243-2500

編集責任者

石黒 修三

同心の由来

病いを持つひと、癒すひと。同じ心でいたいものとの願いからつけました。

もっと、もっと詳しく

「もう普通のCTは古いという時代です」

お喜びください。この度ようや

く、皆様のクリニックに「ヘリカルCT」を導入することができました。へっ、そりゃ何じゃ。へ、ナントカというのとは？と、大抵のかたはお訪ねになります。もともとCTはあつたはずなのにどうした？とお聞きになります。

はい。もつたない話ですが、前のCTは処分しました。今のクリニックには、どこの施設でも使われている古いタイプのCTは不要なのです。今度のヘリカルCTはこれまでのものと違って、体を螺旋（らせん）にして連続的な断層写真をとることができます。これまでのCTとは比べものにならないほどの短時間で数倍も精密な情報が得られるのです。私は、こ

のヘリカルCTの理論が発表された頃から、この器械が実用化される日を待っていました。

そして、初めて実際の断層写真を見た時には我が目を疑ったものです。なんと、体の中の血管が、



影をしながらもよくなる」と確信したものです。この10月の学会でも、このヘリカルCTだけでなくも膜下出血の診断は十分にできるという発表が多くみられました。ならば、どうしたって手に入れるべきでしょう。

もちろん、病気の診断にはMRIは欠かせません。なんといつても、まずはMRIです。診断やMRIの検査で血管の病気が疑われたらMRA（MRアンギオ）をします。これらのまったく痛くない検査で大抵のことは分かっています。が、ここで、「もっと、もっと詳しく」血管を調べるために、このヘリカルCT（CTA II CTアンギオ）が威力を発揮してくれるのです。

MRIやMRAにこのヘリカルCTとそろえばまさに「鬼に金棒」です。大病院を超える診療レベルがすぐそこに期待できるのです。

◆◆◆◆◆
(院長)

バス旅行

五月十八日(日)に、富山県利賀村へ日帰りの小旅行に行つて来ました。四十八名の方に参加して頂き、楽しいひとときを過ごして来ました。

今回は、庄川水記念公園、飛翔の郷・そばの郷温泉・瞑想の郷を周りました。まずは、バスの中でスタッフの村上さんの司会で、童心に願つて手あそびをしました。子供の遊びといつても意外に難しく、四苦八苦しました。皆さん、どうでしたか、うまく出来ましたでしょうか……。

飛翔の郷では道の資料館を見学。他にも、富永一郎漫画館があり原画が展示されていました。残念ながら時間がなく私は行けませんのでした。

お昼はそばの郷温泉で、おそば

や、山菜、いわな、骨酒等おいしく頂きました。その後、温泉に入つてのんびりしました。多くの方が入浴されたようです。

最後に、瞑想の郷で大きな漫陀羅を見ていろいろ説明をうけました。チベットの方が描いたそうで、とてもきれいでした。時間の関係で全ての説明を聞けなかったのは本当に残念でした。

お天気にも恵まれ、何のトラブルも無く、無事に終わられました。



あつという間でしたが、本当に楽しい旅行となりました。少し階段の登り降りが多く、時間的なゆとりが少なかったのが難点でした。それでも、多くの方とお話しも出来たり、いつもとは違う姿で皆さんと仲よくなれた事が一番の思い出です。

(受付 村本 記)

放射線科



田西 賢一

昭和31年10月17日生。姉2人の末っ子長男で、これが頼りにならないときいてる。辰口の芳珠記念病院に11年、富山の流杉病院に5年余勤務し、今年3月より、ワツシー先生の所にやっかいになっています。趣味は、麻雀、パチンコほとんどギャンブル系。スポーツは、スキーとゴルフ位です。

とにかく、今は勉強の毎日です。患者さんの為に何が出来ののかを、常に考えて日々努力したいと思えます。ひまそうにしていたら、しかって下さい。



あなたの血圧はだいじょうぶ？

「白衣高血圧」とか「病院高血圧」という言葉を耳にされたことがあるとおもいます。実は、医者や看護婦の顔を見ただけで血圧が高くなるひとは珍しくないので、診察が終わってホッとすると、もう血圧は普通に戻ってしまします。一過性の高血圧、「うその高血圧」です。

血圧というのとはとも不安定で上がり下がり、の激しいものなのです。不安やストレス、ちょっとした体の動きで容易に血圧は上がります。病気がないひとも、寒い日に便器に座っただけで上の血圧は簡単に200を超えるものなのです。逆に、高血圧のひとつでも睡眠中に100を割っているひとも

すくなくありません。だから、1回1回の瞬時の血圧が高いとか低いといって一喜一憂するのはあまり賢明なことではないの

です。ところで最近、高血圧と診断されて降圧剤をもらっている患者さんの30%ちかくは、本当はこの「うその高血圧」



というショッキングな事実が報告されています。本当の高血圧でもないのに薬をのめば、血圧は下がり過ぎて頭の血めぐりが悪くなる。脳の細い血管はいつのまにか詰まっていきました。多発性脳梗塞が起き、やがては痴呆という悲惨な結果が待っています。

そこでクリニックでは、患者さんに「持続血圧測定器」をつけてもらい一日の血圧がどのように変わっていくかを調べています。本当の高血圧かどうか？ どういうタイプの高血圧か？ どういう治療が最適か？ 今の薬で良いかどうか？ 等々が確実に分かれます。検査は無料です。血圧の心配なひととはぜひご相談ください。

(院長)

リハビリテーション



松原 正則

はじめまして!! 私は縁あって5月19日からリハビリで働いております松原です。

私は生まれてから34年間大阪で生活しておりました。大学を卒業し普通のサラリーマンをしておりましたが思わぬ病にかかり目に障害をもちやむなく退社。その後失望の闘病生活を経て、これではだめだと思い、第2の人生として鍼灸の道を選び盲学校を卒業し4年間救急病院に勤め現在に至ります。現在妻、子の三人で生活しております。趣味は旅行、カラオケ、酒です。

では、皆さんまた金沢の事、色々教えて下さい!!よろしくお願ひします。

私の同心

榎 和香

クリニック便り「同心」の由来は「病いを持つ人、癒す人。同じ心でいたいもの」との願いから先生がつけられたそうです。この意味を知り、クリニックに行く時は不安も消え落ちついた気持ちで何となく楽しみに出掛ける今日この頃です。

今までは、診察を待つ間、椅子に掛けても隣の方との会話も無く、雑誌を読んだりテレビを見たり、静かに順番を待つだけでした。

お互いに病いを持ち、心を癒したいと思っている仲間同志なので、すから、ちよつとしたきっかけて友達になれればと思ひ、こちらから声をかけお話をするようになりました。

病気の話はもちろん、料理の話や世間話等いろいろ参考になる事

「同心会」に入りませんか

いしぐるクリニックに「同心会」という集まりがあるをご存知ですか？この「同心」という院内だよりは、同時にまた「同心会」の会報です。院長やスタッフを中心に色々な勉強会を開いたり、患者さんと懇親会を楽しんだりしています。クリニックの仕事がちょー忙しかったりして、なかなか計画どおり定期的には会はもてません。でも、沢山のひとが応援してくださると、私たちスタッフも、「さあ、次は何をしようかな」と俄然ファイトがもてきます。院長の考えもあり、会費無料、会則なし、入退会自由というザックパランな会です。皆さんもぜひ参加しませんか。

「同心会」に興味のあるかたは、同封の葉書に住所、氏名、電話番号をお書きのうえクリニックまでお送りください。

いしぐるクリニック「同心会」係り

も教わり、今では診察を待つ短い時間ではありますが楽しい一時となっています。又、同心会の行事に参加させて頂くことで、仲間と会話し心を豊かにして少しでも自分の力で心を癒す努力をしたいと思っています。

新刊
書籍

紹介

院長著書

頭の病気をやさしく解説



編集後記

皆様のお陰を持ちまして、当院も今年5周年を迎える事となりました。

また「同心」の発行も8回目となりました。

まだまだ未熟で不備な点多いですが、これからもスタッフ一同頑張りたいと思っています。